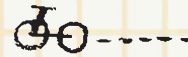


# まるみえ 博善社!

おでかけ  
version



vol.21 2022年 7月号

このニュースレターはブログ「まるみえ博善社!」をおでかけ用に着飾ったちょっと役に立つ情報紙です。お昼の休憩時間やお風呂あがりにお読みください。回覧歓迎! 回覧すると幸せになれるご祈禱済み(笑)

## 今月のチャレンジ

この夏は森林浴で過ごしてみよう

森林独特のおいをつくり、枯葉や動物の死骸の悪臭を脱臭・消臭しているのが植物から放たれている「フィトンチッド」という化学物質。人体に対しても心身を深いいりらくゼーションに導いてくれます。エアコンのきいた部屋を出て森林で過ごしてみよう



▲6月の義務化に際し機体に登録ナンバーを貼ったドローン

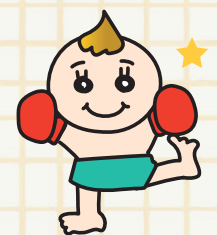
前職時代に栽培を委託していたラオスの農場を空撮したいとドローンを購入。最初は山で見失ったこともある…。知識や技術がなく飛ばし事故になるケースも増えているという。そんな中、車のナンバープレートのような登録制度やリモートID搭載が義務化された。規制はドローンへの期待の高まりでもある。ドローンの最前線にいる方にそこところを聞いてみた(キラリ探検隊コナで)

# お!! 仕事のヒント

## マンガで伝える体験価値

マーケティングの本「モノを売るな! 体験を売れ!」(著者:藤村正宏)はタイトルそのまま、モノがあふれて消費者が購入しない時代には、体験価値を買ってもらおう!という内容となっている。コロナ禍でキャンプ用品が売れたのは、道具そのものではなく、密を避けた雄大な自然の中で家族や仲間と過ごせる体験にお金が出たからだと解釈すると納得できる。「モノ消費からコト消費へ」と言われる中、どんな商品・サービスも単にスペックや業務内容を伝えるだけでは集客は難しい。価値を見出してもらえよう体験に変換し伝えるには工夫が必要だ。

保険という商品は、形がなく今すぐメリットを享受できないため最も販売が難しいと言われる。そんな中、保障を扱う県民共済様のLP(ランディングページ)をつくらせて頂いた。共済においては保険と言わずに保障と呼ぶが、月掛金2千円の安さを謳うだけでは消費者の行動喚起はできない。社会人1年目から貯蓄型保険を押し営業マンと親交をもっていた私は、県民共済様の広告メッセージを認知していたものの「掛け捨ては損」「安い内容が良くない」「保険に加入しているから必要ない」と深く知ろうともしなかった。今は色々とお仕事をさせて頂くにあたり、県民共済の成り立ち、保険との違いや国の保障も知り、誰にどう体験価値を伝えるべきかイメージ出来てきた。但し、



コバスポ

キングカズを崇拝。20代に交ってキックボクシングをたしなむ40代。ケガをしない程度に頑張ります!

漫画はバナー広告やSNSで興味を引きやすい



セリフや人物の表情で分かりやすく伝え、読み手の心を動かすよう訴えかけることができる



イイとこ発見!

# キラリ探検隊



## びわ湖の空をドローンが飛び交う未来へ

守山新聞センターのポールに見慣れない「ドローン塾」の看板。私自身は6月の登録義務化に駆け込み登録したフォロワーであり、最新のドローン事情は先駆者に聞けと、日本ドローンビジネスサポート協会滋賀本部(通称・DBA滋賀本部)の太田文人さんを訪ねた。

案内頂いたのは机が教室風に並んだ部屋。大人の教習とは別に小学生対象の「ドローン塾」をスタートされたという。実はプログラミング学習として小学校でもドローンが使われている。スクラッチというプログラム言語で、ブロックパズルゲームのように楽しみながら論理思考が養えるようだ。「小学生の教育にも使われているのか」と驚くことなかれ!大阪府立大と大阪市立大を統合し新設された大阪公立大学は日本のドローン研究の拠点をつくるべくドローン専門科目設置へ動いているという。お米の種の田んぼへの直まき、有人地帯

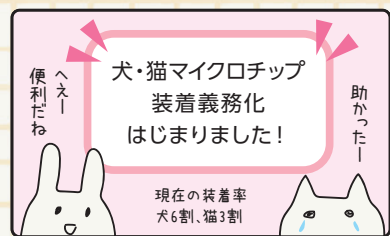
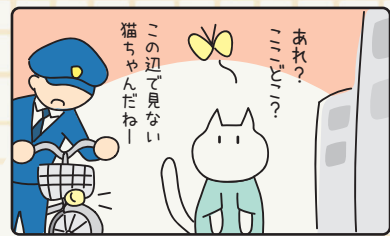
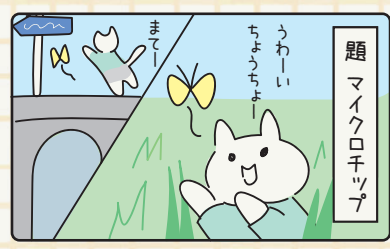


(写真上) ポール看板とドローン教室内 (写真下) 太田文人さん

での警備や消防活動、東京オリンピック開会式でのドローンショーのようなエンタメ活用などドローンの産業進出が期待されている。しかしそれに比例して操縦者不足が課題。今回の義務化で正しい知識と安全に飛ばせる技術を持った人と指導者の需要が拡大するかもしれない。

5年ほど前に新聞センターでドローン事業開発部としてスタートし、あらゆるドローンの要望に答えられようというノウハウを蓄積して動向にアンテナを張ってきた。「びわ湖の空をドローンが飛び交う」というスローガンを未来予想図として掲げているとのことだが、琵琶湖にもう一つ橋をかけるより余程現実的かと思ったりする。(コバスポ)

## ハク(兔)&ゼン(猫)の日常



## マンガを使った広告もお任せあれ!

- ストーリー企画
- 四コマ漫画化
- アニメーション動画化
- チラシで活用
- ランディングページで活用 などなど

お問合せはコチラまで

## 日々の暮らしが良くなる話

私はドライアイですか?

PONDA

いつも心に4色ペンとランポーを。過酷な世の中を生き抜くサイババル術(暮らしに役立つこと)を発信します。

「目が霞んでぼやけて見える...」 「まぶしく感じる」もしかすると、それはドライアイかも? PC・スマホの長時間使用や加齢、夜更かし、気候やエアコンによる乾燥、コンタクトレンズ等の原因により、涙の量が足りなくなったり、涙の成分が変化したりする病気がドライアイです。

薬が作ったドライアイをA判定できる「瞳うるるスキャンアプリ」でチェックを。

眼科医にて適切な診断と治療が必要な病気なので疑いのある方は病院で受診してください。

瞳うるるスキャンアプリ

## チャリで寄り道

チャリてら

GACKTが同級生の元守山高校生徒会長。今もチャリ通の博善社システム担当大臣。近年のICT化等を踏まえた情報をお伝えします。

印刷物を作成する際にお持ちいただくデジカメやスマホの写真。撮影時に確認していただきたいポイントをお伝えします。まずは画質。容量を気にして軽量化される方が多く、画質が足りず入稿し直していただくことがよくありますので高画質に設定変更をお願いします。また、屋外は強い日差しや逆光で影が強く出たしまったり、屋内では照明の光が弱いので、ザラついたりが悪くなったりしますが、フラッシュを使うことで解決します。特に人物写真では顔艶が良くなるのでお勧めです。